

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年9月後半）

1. 経済

- カーゴルクス社、北京経由廈門行の便を17日より週1便増やし、計週2便に増便。（16日付ル・コティディアン紙）
- ルクセンブルク・フリーポート、17日に開設、18日より稼働。同施設は、美術品や高級ワインといった高付加価値商品が、同施設に保管されている間は関税及び付加価値税の支払いが猶予されるというもの。（17日付政府広報及び18日付ル・コティディアン紙）
- エールフランスの提携会社で、プライベートジェットビジネスを行う仏のWijet社、フィンデル空港に就航する旨を17日に発表。（18日付ル・コティディアン紙）
- 当国の電力・ガス会社であるEnovos社、ベルギーのグリーン・エネルギー関連会社であるNPG energy社と、アントワープにて共同でバイオガス発電所を稼働開始した旨19日に発表。（20日付ル・コティディアン紙）
- 2014年8月の失業率は7.2%（前月は7.3%、前年同月は6.9%）。（22日付統計局プレスリリース）
- 米格付会社スタンダード&プアーズ社、ルクセンブルクの格付を「AAA」と維持し、見通しを「安定的」（継続）と26日に発表。（29日付財務省コミュニケ）

2. 金融

- ルクセンブルク中央銀行、当国における人民元決済銀行が、中国人民銀行により中国工商銀行（ICBC）に指定された旨を16日に発表。（16日付中央銀行コミュニケ）
- 英シンクタンクZ/Yenグループによる世界金融センター指数（毎年3月及び9月に発表）において、ルクセンブルクは世界83の金融センター中、15位（前回12位）で、ユーロ圏では最も高い評価。（22日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- 米グローバル・ファイナンス誌の「世界で最も安全な銀行50行」ランキング中、当国国立貯蓄銀行（BCEE）は9位。（23日付ヴォルト紙電子版）

3. 政府

- ペテル首相、シュナイダー副首相（兼経済相）及び関係閣僚、労使代表と18日に会談し、経済政策等につき議論。（17日付政府広報）
- シュナイダー経済相、ブリュッセル開催のEU競争担当相会合（域内市場及

び産業分野)に25日に出席。(23日付経済省コミュニケ)

●グラメーニャ財務相、フランクフルトにて開催の金融関係セミナーに29日に参加。また、メルシュ欧州中銀理事と会談。(30日付財務省コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。